

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2019

April
No.1086

4月

表紙

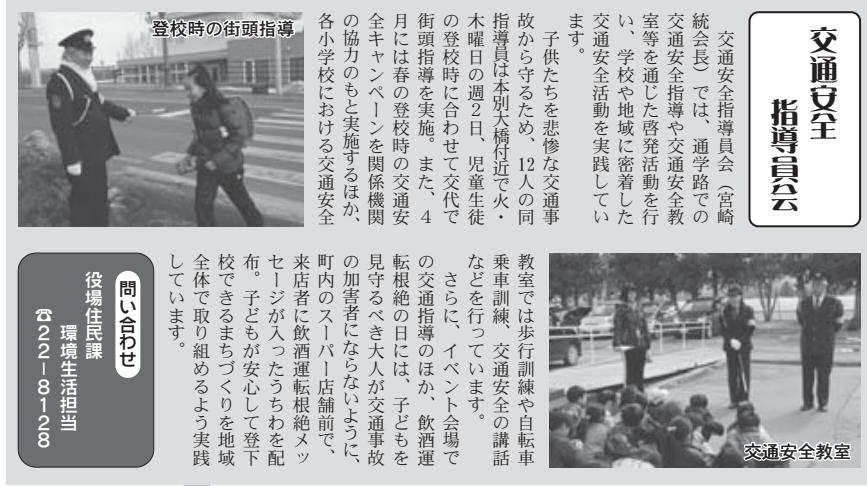
本別中学校第72回卒業証書授与式。別れのセレモニーでは卒業生全員で「証」を合唱

祝 卒 業



Pick up

- ✿ 子供たちの健やかな成長と安全を願って
- ✿ 町政・教育執行方針、平成31年度当初予算
- ✿ 特集 本別町のお金の使いみち
- ✿ 地域包括ケア報告会が開催されました
- ✿ 新しいごみの分別が始まります



子供たちが安心して通学できる環境を守るため、各団体が活動しています。どの団体も「自分たちのまちは自分たちで守る」「地域の子どもは地域で守る」という意識を持って活動していますが、一緒に行動していただける人・会員数などが十分ではありません。

この活動が絶えてしまえば、悲惨な事故や犯罪が発生することにもなりかねません。
そこで……

子供たちのために、私たちと一緒に活動しませんか？

「こども110番の家」事業に賛同し協力いただける家庭や事業所のほか、青色回転灯パトロール隊、交通安全指導員会、すきやきたいの各活動に協力いただける人を募集しています。

詳しくは、それぞれの担当へお問い合わせください

子供たちの健やかな成長と 安全を願って

最近、連日のように悲惨な事件や事故が新聞やテレビで報道されています。犯罪のない安全な暮らしは町民の切実な願いです。本別町では、安心して暮らせるまちを実現するため、複数のボランティア団体が町・学校・警察・事業者等と連携しながら、さまざまな防犯活動を行っています。

入学シーズンの春を迎える、「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、安心して通学ができるよう活動している各団体の取り組みについて紹介します。



協働で、夢と笑顔
あふれるまちづくり

3月5日の町議会第1回定例会で、高橋正夫町長が町政実行方針を、佐々木基裕教育長が教育行政執行方針を示しました。平成31年度のまちづくりの方向性について、その概要をお知らせします。

平成31年町議会第1回定期会の開会にあたり、新年度の町政執行に臨む基本的な考え方と施策の大綱を申し上げます。

私は、就任以来、一貫して町民の皆さんと歩んできた協働のまちづくりを基本理念に、「未来へほんべつ」の創造を目指し、将来を担う子供たちの健やかな成長および教育の充実と、暮らしの安全・安心を守る健康福祉、介護、医療、防災など、町民生活を原点にサービス基盤の整備を全力で推進することができました。

町民の皆さまをはじめ、議員各位のご支援ご協力に改めて敬意を表し、深く感謝申しあげる次第であります。

町政に臨む

町政に臨む
基本姿勢

少子高齢化で取り巻く環境は、
療介護、子育て支援など社会の
保障への対応や地域交通の維持
など、果たす役割が拡大する中
で、大きな政策課題に直面して
おり、地方財政を取り巻く環境
は、依然、厳しい状況が続くも
のと想されます。

本町もいたしましても、人口
減少、地方創生に資する
喫緊の課題に対して國の取り組み
と充分に連携し、全力でこの
課題に取り組んでいかなければ
ならないと考えているところで、

A black and white portrait of Takahashi Masaru, the mayor of Higashimurayama. He is an elderly man with white hair, wearing a dark suit, a white shirt, and a striped tie. He is looking slightly to his left. In the background, there are other people, some of whom are partially visible and appear to be wearing glasses. The setting seems to be an indoor event or press conference.



主要な施策 推進の基本的 な考え方

①生涯を通じて学び、
豊かな心を育むまちづくり

し時代をめざして掲げて行くことができるよう、家庭・家庭・地域が一体となって日々学ぶ「ほんべつ学びの日宣言」の理念のもと、関係機関・団体と連携し、図ながら、四つの風事業の推進と教育環境の向上に努めてまいります。

② 地域資源を生かした 豊かなまちづくり

②地域資源を生かした
豊かなまちづくり

本町の農林業は、国土の保全、環境の維持など多面的機能を發揮し、また日本における食料生産・供給基地としての役割と本町経済・生活其盤の中心を担う重要な基幹産業かつ貴重な資源となっています。

しかし、諸外国との連携協定などによる自由貿易化の政策により、農業分野での市場開放や関税の撤廃など、農業を取り巻く情勢が大きく変化しており、地域経済への影響が大きく危惧されることがあります。

などによっています。しかし、諸外国との連携協定などによる自由貿易化の政策により、農業分野での市場開放や、関税の撤廃など、農業を取り巻く情勢が大きく変化しており、地域経済への影響が大きく危惧されるところです。

本町をいたしましても、農業の基本であります土づくりを中心的に安全・安心な農産物の生産と其基盤づくりに向けて、農業者をや農業関係機関と連携し支援を行ってまいりました。しかし一方で、農業の担い手不足などの問題により、施策や事業を推進するにあたり大きな課題となつてきていることから、今後も人口減少

安全に暮すにはどうすればいい

ともに支え合い、いつまでも安心して暮らせるまちを願い、町民の総意により宣言していた「福祉でまちづくり」をだいた「福祉でまちづくり」を合言葉に、地域住民・福祉団体事業者、行政がそれぞれの役割を担い、重層的に連携し、この充実に、近年の社会経済環境の変化に伴い問題が深刻化しております。生活困窮者の自立支援機関につきましては、「本別町域生活支援事業検討会」による機関との情報共有や包括的

な相談・支援体制を構築してまいります。

次に、子育て支援は、次代を担う「本別の宝」である子供たちを生き生きと健やかに育むため「本別町子ども・子育ての支援事業計画」に基づき、地域の事情に応じた子ども・子育て支援策を総合的かつ効率的に推進し、すべての子どもの健やかな成長を支え、充実した子育て環境の整備を図ってまいります。

すべての子どもたちの健やかな成長を支え、充実した子育て環境の整備を図ります



基幹産業である農業は、新規就農対策、農作業支援対策を推進し、農業経営基盤の維持拡大、さらなる雇用の拡大を図ってまいります

②地域資源を生かした
豊かなまちづくり

「十勝バイオガス関連事業推進協議会」と連携し、発電の可能な性を含めた具体的な取り組みの推進と事業の方向性を検討していく所存です。また、農地の基盤整備は、今年度および平成33年度に道管網整備事業を実施するとともに、明渠排水につきまして

引き続いだ「本別町企業誘致条例」によれば、「起業家支援要綱」とよびる商工業への積極的な支援を行なうとともに、本別町しごと体験交流館の供用開始により、農産業、工業の発展・振興に不可欠な人材確保に努めてまいります。

次に、観光の振興は、農業を基幹産業とする本別ならではの特徴ある地域資源である「食」、

な相談・支援体制を構築してまいります。

次に、子育て支援は、次代を担う「本別の宝」である子供たちを生き生きと健やかに育むため「本別町子ども・子育ての支援事業計画」に基づき、地域の事情に応じた子ども・子育て支援策を総合的かつ効率的に推進し、すべての子どもの健やかな成長を支え、充実した子育て環境の整備を図ってまいります。

すべての子どもたちの健やかな成長を支え、充実した子育て環境の整備を図ります



小規模多機能型居宅介護事業所「ゆうあいの里」に併設して7戸の高齢者向け住宅を整備します

平成30年に整備された「陽だまりの家」

また、水道、下水料金の見直しに向けて検討を進めてまいります。
公営住宅の整備は、住環境の向上を図るため「本別町住宅政策推進計画」を基本に実施するまいります。

⑤町民力 地域力 行政力

(4) 快適でやさしさのあるまちづくり

本年度の町道整備は、新規
業1路線、継続事業5路線の
路改良・舗装工事および橋梁
寿命化事業を実施してまいり
ます。

交通手段を持たない町民の
を確保するため、ふるさと型
線代替バス、生活維持路線の
「浦幌・本別線、太陽の丘延
バスや町にバスなどの公共交通
機関の安定的な運行に努めて
いります。

水道事業は、町民生活や祭
活動を支える施設として重要
役割を担っております。この
め施設の整備や維持管理を計
的に進め、安全で良質な水を
定的に供給できるよう努力して
まいります。

下水道事業は、施設の整備
維持管理に努め、水洗化の促
進により、水質の改善を図る方
面で、河川環境の改善に貢献す
る所存です。

路路改良工・舗装工事および橋梁長寿化事業を実施してまいります。
交通手段を持たない町民の足を確保するため、ふるさと銀河線代替バス、生活維持路線バス、「浦幌・本別線」、太陽の丘循環バスや町にバスなどの公共交通機関の安定的な運行に努めてまいります。

④快適でやさしさのあるまちづくり

障がいを理由とする差別解消の推進、農業分野と連携した就労支援システムの構築に取り組みます



福祉施設利用者が農家の労働力を補完

困が大きな社会問題となる中、子どもの将来がその生まれ育つ環境によって左右されることのないよう、年度策定する第2期計画に有用な施策を盛り込んでまいります。

幼稚教育の無償化については、国の中でも、子育て支援法改正法案の成立をもって、本町におきましても、関連する町条例の改正、それに伴います補正予算について、町議会にて審議いただいき、取り組みでまいります。

高齢者福祉および介護保険事業は、「第7期銀河福祉タウン計画」に基づき、高齢者福祉施設の整備が進められています。この計画では、高齢者福祉施設の整備が進んでおり、今後は、高齢者の生活環境の改善と、地域社会との連携強化を目指す取り組みが実現されることが期待されています。

寄町、陸別町、上士幌町、池田町、浦幌町との連携により共同実施いたします。

権利擁護事業は、社会福祉協議会と連携しながら、「あんしんボートセンター」の運営に対する支援に努めてまいります。障がい者福祉は、「第1次障がい福祉総合計画」に基づき、障がい福祉サービスの相談支援や切れ目のないマネジメント体制の充実に努めるとともに、障がいを理由とする差別解消の推進、農業分野と連携した就労支援システムの構築に取り組んでまいります。

健康づくりは、乳幼児から高

団りながら、妊娠期から子育期まで切れ目のない支援を行なうまいです。

心の健康づくり事業は、月回心理カウンセラーによる「のぼると相談」を継続し、町のメンタルヘルス向上に努めまいります。

老人ホームの運営は、利用者の状態に応じたサービスを適かつ効果的に提供して、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援してまいります。

介護基盤の整備は、勇足でにおいて社会福祉協議会が運する小規模多機能型居宅介護

度に策定しました「病院改革プラン」を推進し、地域医療の確保を図るとともに、地域包括アプローチの構築を進めています。また、病院の運営につきましては、外来患者数および病床利用率の維持・向上による収益確保を図りながら、材料費、経理費などの経費節減に努め、経営体質の強化に努めることとともに、内科・外科の基礎診療科を中心に診療機能の充実を図り、1・5次医療として耳鼻咽喉科、眼科など、専門診療科の充実に努め、町民の皆さんに信頼される病院づくりに取り組んでまいります。

齢期まで、町民一人ひとりが健やかに安心した生活が送れるよう各種検診事業や予防接種などの普及啓発に努め特に生活習慣病の予防を重点に取り組んでまいります。

成人保健は、特定健診の受診勧奨に努め「データヘルス計画」、「特定健診実施計画」との整合性を図りながら、効果的な予防活動を行ってまいります。

母子保健は、「第3次母子保健計画」の策定に取り組むとともに、安心するよう、妊娠産育への助成事業、乳幼児健診や保健指導の実施など、子育て包括支援センターを中心に関係機関と連携を取

業所「ゆうあいの里」に併設し、7戸の高齢者向け住宅を整備し、本年秋頃の入居開始に向けて、捲を図ってまいります。

次に、国民健康保険は、都府県への広域化になり2年目を迎えます。国民健康保険加入の負担増などを考慮し平成31年度は税率改正を行わず、国保や国・道からの交付金等で北道への納付金を賄えるよう健運営に努めてまいります。

後期高齢者医療は、今後も高齢者等にかかる医療制度の構築に努め、運営主体である連域連合と連携を図つてまいります。

次に、防災対策は、平成31年度から2か年計画で「デジタル化促進・災行政無線の整備を進め、民間受信機については、設置を希望される世帯には無償で貸与する」とにより、防災行政無線の充実強化を図ってまいります。



向陽町自治会避難訓練

地域コミュニティ意識が多様化する社会に対応するため、引き続き協働の視点で、町民の皆さまや団体などと連携し、これまでに培った町民力、地域力、行政力が発揮できるまで、ちづくりを進めてまいります。併せて、わかりやすい情報の発信に努め、町政の「透明性」を

Rするとともに、本町の観光資源・地域資源を活用した返礼品（特産品）の充実を図り、寄附金のより一層の有意義な運用図っています。

むすびに、本町を取り巻く環境は一段と厳しさを増しておますが、これまでと同様、町の皆さんと一緒に築いてきたまちづ

広市の「くりりんセンター」への搬入が開始されますが、ごみの出し方などについて、ごみ収集業者と連携を取りながら周知を図ってまいります。

行政財政改革大綱と推進計画に基づき、本町の将来展望を見え、行政運営のあり方を模し、簡潔で効率的な行政執行を推進してまいります。

園施設についても効率的な維持管理を行い、町民の憩いとふれあいの場としての快適な環境づくりに努めてまいります。

また、住宅の改修や新築住宅に対する助成事業・既存木造住宅の耐震改修等助成事業、空き家等除却支援事業を引き続き実施するとともに、「本別町居住支援協議会」による居住福祉祉の推進に努め、空き家等対策を総合的かつ計画的に取り組んでまいります。

次に、「ごみ収集事業の推進につきましては、平成31年4月から資源ごみと小動物以外は、勝間複合事務組合が運営する帶云市の「くりりんセンター」へ

第7次本別町総合計画 平成33年度)の策定に向け、平成31年度から準備を進めてまいります。策定の手法は、町民のさまととの協働を基本に現計画検証を行い、今後歩んでいくべき方向を見定め、計画づくり進めることといたします。

地方創生は、5年目を迎えて引き続き本町における人口ビジネスや地方版総合戦略に基づき連事業を展開することとし、一民間の皆さまや関係団体へ進展状況等を説明し、他の施策との適合性に留意するなどして、適切に対応してまいります。

次に、財政改革は、第5

力を得ながら、より一層、確
かな信頼関係を積み重ねられる
う努力するなどに、本別町の
個性と元気が發信できるよう、
併せて「地方創生」および
「減少対策」を意識して、「市
心と活力と夢あふれるまちづ
くり」を目指して取り組んでま
る所存であります。

A black and white photograph showing a group of approximately ten people in an indoor setting. They are standing around a rectangular table, looking down at papers or maps spread out on it. Some individuals are pointing at specific areas, suggesting a discussion or training exercise. The room has plain walls and a simple floor.



英語指導助手を学校に派遣するなど、英語教育の充実に努めてまいります

教育行政実行の 基本的な考え方

元氣学宿^をを継続するとともに、新たに1~2年生を対象にレ元氣学宿^{を開催してまいります。}
ふるさと学習「ほんべつ学習」では、地域の文化、歴史、自然、産業など本別をもつと良く知り、まちの魅力を再発見するとともに、土人愛を育むことを目標として、「義経教室」も引き続き設してまいります。
本別町民文芸「沖積土」は昭和45年創刊号の発刊以来、50号を数え、49号に引き続集題テーマを「戦争」として、戦争体験者の聴き取りや体験有無にかかわらず戦争に対する思いを収録した記念号を発刊してまいります。
ほんべつ学びの日の取り組につきましては、学びの日総事業「学びエクス'タ」を通じて、家庭、学校・地域・行政が連携して四つの風「光風、風・夢風、実風」事業を開催します。文化振興につきましては、音楽祭、舞踊と民謡の祭典等でまいります。

開催するが、開催日は、して舞台芸術の公演など、町の皆さんに優れた芸術・伝統文化に触れる機会を提供してあります。また、公民館施設の老朽化した備品を計画的に更新し、町民が利用しやすい環境を整えます。

図書館につきましては、ファーストブック事業を継続・推進していくとともに、「本のまち夢づくり」講演会・や出前授業の開催、学校や児童・高齢者施設での読み聞かせなど読書の普及と、書で「言葉の力」「創造力」の発達を育む取り組みを家庭や学校、ボランティアと協働で進めています。

歴史民俗資料館につきましては、戦争を体験している人々から見た戦争の恐ろしさや平和の大切さを未来へ継承する「日本別空襲を伝える企画展」をはじめ、「本別まめ知識展」と関連講座を開催するなど、やる世代が学びあえる場となるよう努めています。

スポーツツーリングにつきましては、引き続き「健康スポーツ週間開催」や「義経の里スポーツフェスティバル」等の開催をはじめ、年齢や体力に応じたスポーツ教室・講習会等を開催するなど、町民の皆さんのがスポーツによる健康な日々を送ることができ



元気学宿事業の拡大など、少年教育の充実を図ります

主要施策の推進

は、地域全体で子供たちの学びを育むために、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」を勇足地区で実施しています。本別「仙美里地区」でも継続して本格導入されるほか、本別総合の「コミニュニティ・スクール」導入を目指します。また、子供たちの発達段階に応じた能力や個性等を最大限に伸ばすため、同一校種間の連携事業を進めるとともに、幼稚教育から高校教

ります。本別中央小学校が開校50周年を迎えることから、記念事業を取り組みます。

国際理解教育の推進につきましては、本別の学びの主軸に位置付けている英語教育による充実を図るため、昨年度引き続き英語教諭を任用し、義務教育や生涯学習の場で活用します。

特別支援教育につきましては、共生社会の形成に向けて、障がい者

A photograph showing a group of approximately ten people seated around a large, round white table in a room. They appear to be in the middle of a discussion or presentation. The individuals are dressed in casual to semi-formal attire. The background shows other tables and chairs, suggesting a conference room or a similar setting.

コミュニティ・スクールを本別・仙美地区で本格導入し、全町的に展開しま

元気学宿事業の拡大など、少年教育の充実を図ります。

元気学宿「もららい湯」

しては、これらの社会情勢をしつかり見極めながら、ふるさとへの誇りや愛着を持ち、多様性を尊重し共に野を広げ、多様性を尊重しながら、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓いていく人づくりを目指して、関係機関・団体等と連携を図りながら町民の信頼に応えるよう、振興教育の充実、社会教育の推進に取り組んでまいります。また、「地域文化・スポーツ」の発展を念頭に、子どもは地域で育てる

育までを連続的につなぎ、黒川洋一
間連携事業を推進します。
義務教育の推進につきましては、
これまでの教育実践の蓄積を
引き継ぎつつ、授業の工夫
改善を図るために引き継ぎ町内
派遣教員を小学校に派遣し、より
きめ細かな指導の充実に努めます。
小学校で次年度に外国語の
が教科化され、中学年および高
学年で大幅に授業時数が増加す
ることから、移行措置として並

平成31年度本別町の予算

総額 117億6,744万円

一般会計 69億3,124万4,000円

特別会計 32億 167万2,000円

企業会計 16億3,452万4,000円

一般会計予算の概要

一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、69億3,124万4千円で、前年度当初予算66億9,151万3千円と比較し、3・6%の増となっております。

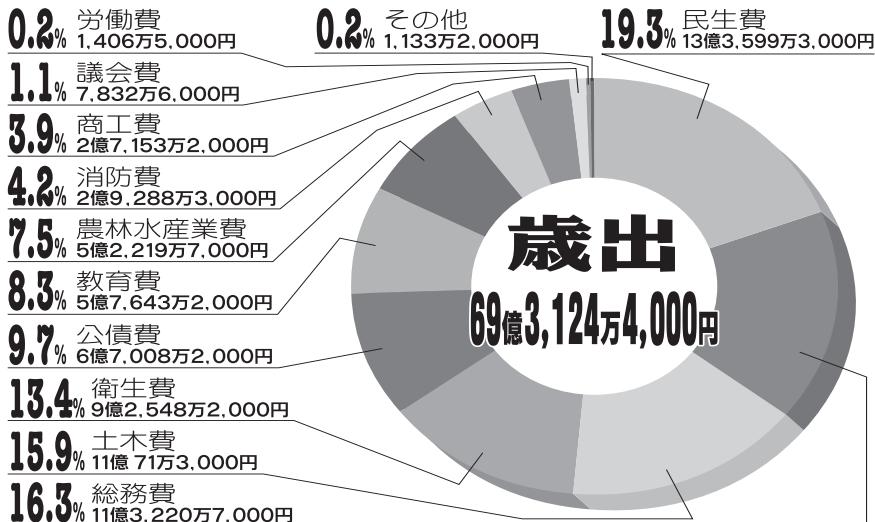
歳入について、町税はその13・4%を占めていますが、主に町民税の増を見込み、前年度当初予算と比較し2・8%増の9億円と見込んでいます。歳出は、町税7万円を計上しました。なお、町税のうちへ湯税は、観光振興や環境衛生施設等の整備などに充てることを目的とした地方税で、357万円を計上しています。地方交付税は歳入の40・0%を占めていますが、交付税額算定における増減要因や償付費算入額の減少などを込み、前年度当初と比較して2・2%増の27億7,215万8千円としました。繰入金は、財政調査整基金をはじめとした基金繰入額を計上しました。

と体験交流館の運営を開始し、本町における就労体験や研修等を行う利用者の受け入れを行なっています。教育関連事業では、本別高校存続の支援として、本別高校の教育を考える会の特色ある学校づくりの取り組みへの支援を強化し、これまで半額助成であった「各種資格取得検定料助成」「進学・就職模擬試験受験料助成」を全額助成するなど充実を図ります。基幹産業である農業振興対策では、長期停電時などでも発電機による電源確保ができるよう、配電盤の設置に対する支援を行ないます。投資的経費については、栄町団地の公営住宅建替事業や道路改良工事、装事業等を総額12億円以上に計上しました。その他主な事業は、15万4千円を計上しました。から17ページまでをご覧ください。

金を5億9760万3千円とし、前年度と比較して24・5%の増となりました。地方債は防災行政無線更新事業などの普通建設事業の増などにより、前年度比13・3%増の7億8878万9千円を計上しています。

A pie chart titled "歳出" (Expenditure) showing the budget for the New Year's Outing. The total amount is 69億3,124万4,000円 (69 billion 312 million 4 thousand yen). The chart is divided into three main categories: 業費 (Business Expenses) at 7,000円, 2,000円 (likely a typo for 2,000), and 2,000円 (likely a typo for 2,000).

Category	Amount
業費	7,000円
2,000円	2,000円
2,000円	2,000円
歳出	69億3,124万4,000円

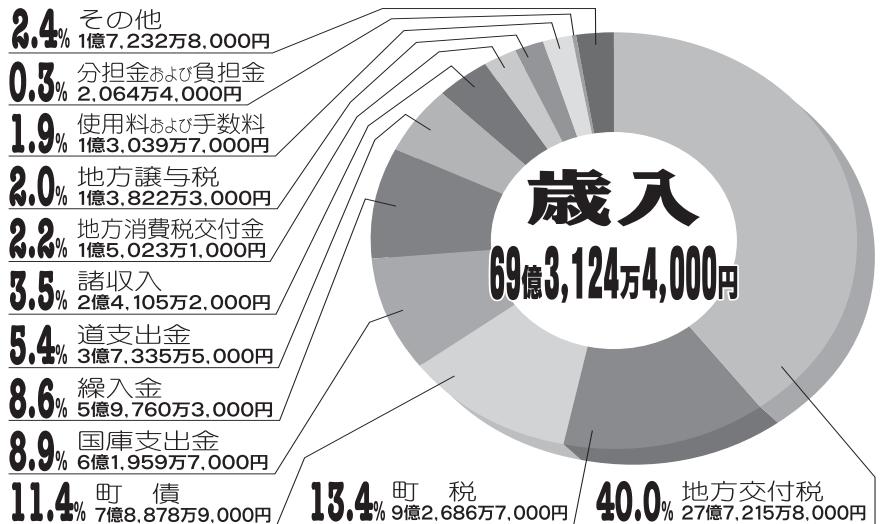


各会計別当初予算額

会計区分		本年度A	前年度B	差引(A-B)C	C/B×100	
一般会計		69億3,124万4,000円	66億9,151万3,000円	2億3,973万1,000円	3.6%	
特別会計	国民健康保険	11億6,440万5,000円	11億9,098万円	△2,657万5,000円	△ 2.2%	
	後期高齢者医療	1億3,281万8,000円	1億2,746万3,000円	535万5,000円	4.2%	
	介護保険事業	9億8,184万4,000円	9億7,302万円	882万4,000円	0.9%	
	介護サービス事業	2億9,325万7,000円	2億9,026万円	299万7,000円	1.0%	
	簡易水道	1億2,136万1,000円	1億2,019万5,000円	116万6,000円	1.0%	
	公共下水道	5億798万7,000円	4億8,668万1,000円	2,130万6,000円	4.4%	
	小計(1)	101億3,291万6,000円	98億8,011万2,000円	2億5,280万4,000円	2.6%	
企業会計	水道事業	収益的 収支 支出(2)	1億5,285万9,000円 1億5,285万9,000円 5,738万7,000円 1億2,299万9,000円	1億6,448万8,000円 1億6,448万8,000円 230万円 6,131万7,000円	△1,162万9,000円 △1,162万9,000円 5,508万7,000円 6,168万2,000円	△ 7.1% △ 7.1% 2,395.1% 100.6%
	病院事業	資本的 収支 支出(3)	10億8,928万3,000円 12億5,925万4,000円	11億3,548万5,000円 12億8,841万7,000円	△4,620万2,000円 △2,916万3,000円	△ 4.1% △ 2.3%
	合計(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	117億6,744万円	115億1,593万5,000円	2億5,150万5,000円	2.2%	

歳入項目	割合	額
その他	2.4%	1億7,232万8,000円
分担金および負担金	0.3%	2,064万4,000円
使用料および手数料	1.9%	1億3,039万7,000円
地方譲与税	2.0%	1億3,822万3,000円
地方消費税交付金	2.2%	1億5,023万1,000円
諸収入	3.5%	2億4,105万2,000円

歳入
69億3,124万4,000円



特集

本別町のお金の使いみち

今年度主な事業あれこれ

☆印は新規事業です

平成31年度の一般会計予算の主な事業について、
ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。

ソフト事業編 Part1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

本別町総合計画の推進

☆第7次本別町総合計画策定準備（計画期間 平成33年度～）
・審議会、研修会の開催



本別町行財政改革の推進

第5次行財政改革大綱の推進（平成28～32年度）
・事務事業、補助金の見直し

子育て支援の充実 保育補助者雇上強化事業

認定こども園ほんべつにおける保育教諭の業務をサポートし、より充実した教育・保育環境を整えるため、保育教諭等の資格を持たない保育補助者の雇上げに必要な経費を補助します。

443万円

地域子ども・ 子育て支援事業

安心して子どもを育てられる環境づくりを進めるため、子ども・子育て支援法に掲げる以下の事業を実施します。

- ・利用者支援事業
 - ・地域子育て支援拠点事業
 - ・一時預かり事業
 - ・延長保育事業
 - ・病児保育事業（体調不良時保育）
 - ・ファミリーサポートセンター事業
 - ・放課後児童健全育成事業（学童）
- など

4,197万円

いきいき商品券 発行業務

いきいき商品券10,000円
分5,000セット発行にあたり、プレミア率15%相当分
を商工会へ補助します。

790万円

雇用対策事業の 推進

○季節労働者雇用対策事業
北地区集会所、中央小学校物置解体業務
280万1,000円

○ワークシェアリング枠
(高校生2人)
370万3,000円

総事業費
650万4,000円

不妊・不育症治療費 助成事業

妊娠・出産を望む人を支援するため、
不妊または不育症治療を受けている人の
経済的負担を軽減します。

60万円

妊娠婦支援事業

妊娠婦の皆さんを安心して出産できる
よう、妊娠婦検診と出産にかかる交通費
等の一部を助成します。

149万円

特定健診および 各種がん検診の充実

866万4,000円



地域健康づくり活動の充実

地域における健康づくり活動の推進を
図るため、住民懇談会（GENKIくん
プロジェクト）等を開催します。

☆防災対策の推進

・防災行政無線更新事業（デジタル化）

防災行政無線の更新（デジタル化）
を行い、住民への個別受信機無償貸与
による配備により、防災情報伝達手段
の強化を図ります。

事業期間 平成31年度～平成32年度
平成31年度：親局設備、遠隔制御装置、
再送信子局3局、個別受
信機800台

1億5,617万8,000円



地域包括ケアプロジェクト 推進事業

本町における医療・介護福祉施設等の日常のほか、本町の自然や農商工業などあらゆる魅力を発信することで、医療介護等の人材確保に努めます。
・地域医療・介護等の人材確保に向けたネットワーク構築等

300万円

介護従事者就業支援等補助金

町内の民間介護サービス事業所において新たに就職する介護従事者の人を対象に、就業支援補助金（就職支度金、就業支援金）、住宅準備支援補助金、養育支援補助金を支給します。

724万円

☆介護職員初任者研修・ 福祉職場入門研修

これから介護サービスの仕事に従事しようとする人や介護知識を学びたい人を対象に、介護職員初任者研修として基本知識・技術の習得を支援します。

また、新たに21時間程度の研修を受けることで、身体介護を伴わない生活援助技術を習得することができる福祉職場入門研修も併せて実施し、介護分野で働くことの不安を軽減し、介護を知る機会とします。

80万6,000円

病院事業医療機器購入

内視鏡洗浄消毒装置の更新

204万円

☆社会科副読本の作成

平成22年度に発刊された小学3・4年生用社会科副読本（地域学習書）を改訂します。

330万円

英語教諭の配置

英語教諭を任用し、小学校の外国語（英語）授業を支援するほか、幼児・高校生を対象とした英語学習の場を提供するなど、本町の学びの主軸である英語学習のさらなる充実を図ります。

332万8,000円

☆本別中央小学校開校50周年を祝う会補助金

本別中央小学校開校50周年記念事業の取り組みを支援します。

- ・記念式典の開催
- ・記念事業の実施
- ・記念誌の発刊

100万円

本別高校の教育を考える会補助金

本別高校の存続および方向性を探るために調査・研究を進め、特色ある学校づくりを支援します。

入学の準備にかかる制服の購入費補助、遠距離通学補助、下宿代補助などを行います。また、平成31年度から新たにこれまで半額助成だった「各種資格取得検定料助成」「進学・就職模擬試験受験料助成」を全額助成化し、また「オープンキャンパス参加助成」の対象要件拡大など、本別高校の魅力ある学校づくりの取り組みを支援します。

2,736万1,000円

☆公民館施設設備品更新

勇足地区公民館の老朽化した椅子を更新します。

・講堂椅子 150脚 **187万円**

☆本別町民文芸「沖積土」第50号（記念号）の発刊

今年度発刊される「沖積土」が第50号となることから、特集テーマを「戦争」とし戦争体験者の聴き取りや戦争に対する思いを収録した記念号とします。

42万3,000円

本のまち夢づくり講演会の開催

本別町生まれの画家・絵本作家「きくちちき」氏を招き、本町出身の作家と触れ合することで、子供たちが未来に夢を描き、心の成長につながるように学校や保育所、子ども園と連携して講演会と出前授業を開催します。

35万5,000円



移住促進・観光振興事業

☆しごと体験交流館運営

地域産業を支える人材確保と本町への定着を図るために宿泊施設として、本町における就労体験や研修等を行う利用者の受け入れを行います。

361万1,000円

十勝東北部移住サポートセンター運営

- ・移住アドバイザー1人
- ・サポートセンター運営負担金

451万8,000円

地域おこし協力隊の任用

移住促進、農福連携、観光振興分野のほかに、新たに農林業振興に関する活動に従事する隊員1人を任用します。（継続3人、新規1人）

1,654万8,000円

十勝東北部観光

地域づくり推進事業

食と観光の商品力・販売力強化チャレンジ事業（池北三町連携事業）

1,250万円

ソフト事業編 Part2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど

※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

本別町住まいの環境整備促進事業

・住宅改修等助成交付事業

町内業者を利用した住宅リフォーム費用を一部助成します。

工事費30万円以上は10万円助成、空き家バンク登録物件の購入・賃借で工事費100万円以上は30万円助成

760万円

・住宅新築助成事業

町内に一定規模（50m²・500万円以上）の自宅を新築または購入し居住した際に100万円を助成します。（町外業者を利用した場合は20万円）

600万円

・木造住宅耐震改修等助成事業

昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅（2階建てまで）の耐震診断・耐震改修工事に対して助成します。（耐震診断…上限3万円、耐震改修…上限30万円）

36万円

本別町老朽空家住宅除却支援事業

・空き家住宅等除却支援事業

隣接者に悪影響がある著しく管理不良な空き家住宅の除却を促すため費用の一部を助成します。（限度額 1件100万円）

300万円

新規就農者等支援事業

本町での就農を目指し、営農実習、農業体験、研修を実施しようとする新規就農予定者および受入れ農家を支援します。また、新規就農者に対して農業経営の維持発展に必要な営農資材費用等を支援します。

2,216万円

農業次世代人材投資事業交付金

次世代を担う農業者（経営開始5年以内）の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農直後の所得確保を支援します。

1,050万円

環境保全型農業直接支払事業

地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。

2,035万3,000円
(本町負担分 508万9,000円)

☆地域林政支援活動事業

地域林政アドバイザー制度を活用し、林地台帳の精度向上業務、森林經營管理制度に基づく森林所有者への經營管理意向確認調査などを実施します。

500万円

体育の日イベント「義経の里スポーツフェスティバル」の開催

子どもから大人まで世代を越えてスポーツに取り組み、健康づくりと世代間交流を深めるため「第7回義経の里スポーツフェスティバル」を開催します。

24万3,000円

スポーツイベント「ほんべつ健康ウイーク2019」の開催

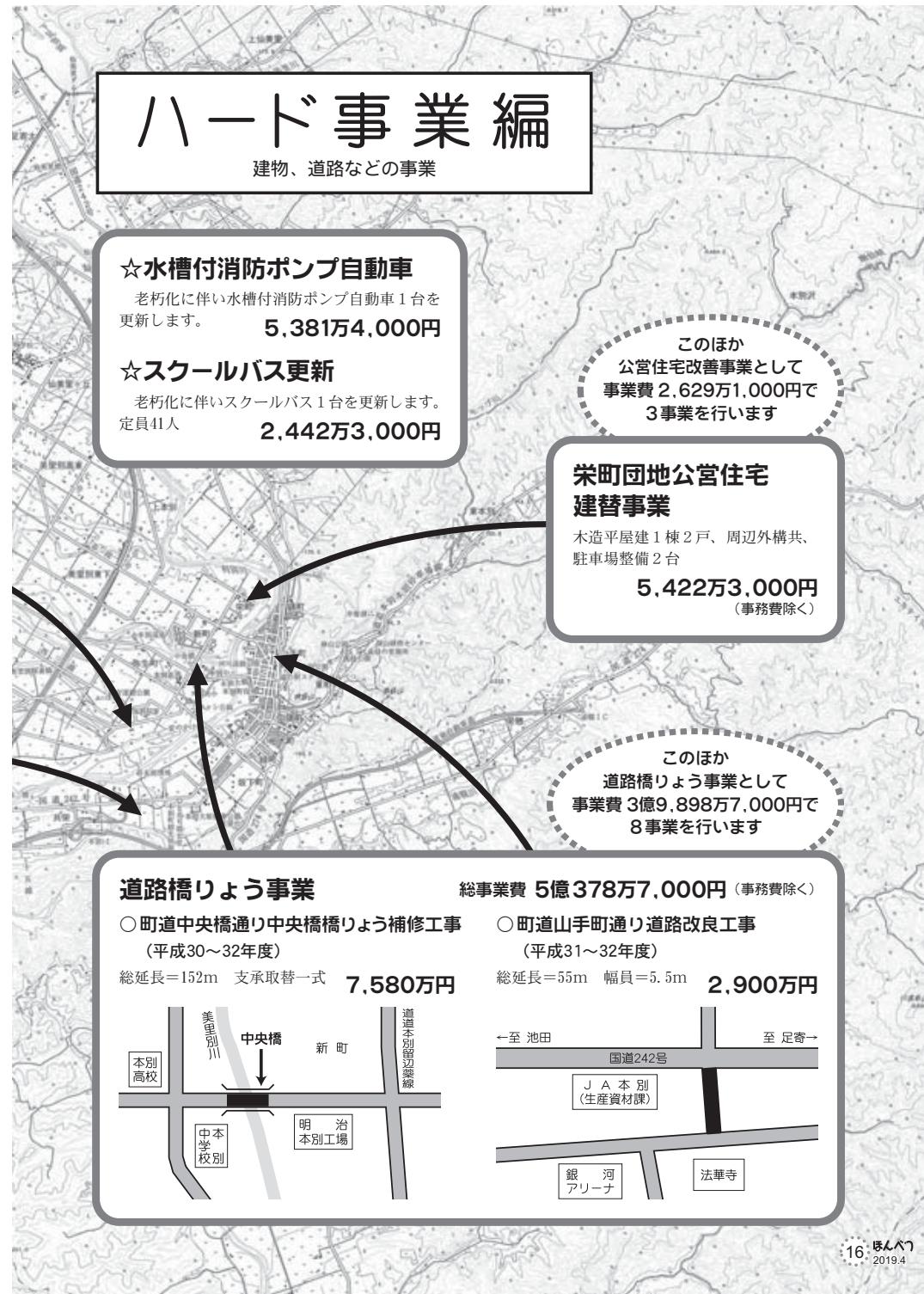
誰もが気軽に参加しやすい独自のスポーツ週間を設定し、スポーツに触れる機会を提供することによって、健康づくりを推進します。

15万9,000円

☆体力増進センターの施設整備・備品購入

近年の健康志向の高まりから利用者の増えている体力増進センターの器具を計画的に更新しています。今回は利用者の要望と器具の安全面からウェイトトレーニング器具を更新します。

65万1,000円



受賞おめでとうございました

平成30年度本別町教育功績者表彰式ならびに少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式が3月9日、中央公民館で執り行われ、佐々木基裕教育長から計17個人、4団体の受賞者へ表彰状や記念品が手渡されました。功績者および奨励賞の受賞者は次の通りです。

教育功績者

かわ 望月
の月
かづ
のり
さ
(鳥居西口)



河野一綱（勇足西2）
長年PTA役員として児童生徒の健全な成長に努め、学校教育活動やPTA活動の推進と教育振興に多大な貢献をされました。

本別町図書館
ボランティ
(綾田マ)



図書館事業に積極的に関わり、絵本や読み聞かせによる子育て支援、学習単元に沿った読みを深める授業など学校教育または社会教育に尽くした功績を残されました。

110

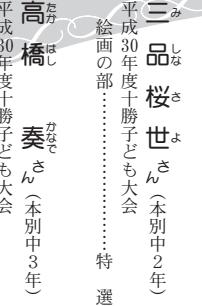
個別人



西村真優さん（本別中2年）
第30回国際平和ボスター・コンテスト
最優秀賞

【团体】

廣瀬乃愛さん（本別中2年）
第51回北海道地区受信環境クリーン
図案コンクール
図案コンクール……………入選



高橋さん（本別中3年）
（かなてさん）
平成30年度十勝子ども大会
意見発表の部……………最優秀賞

一四八

意見発表の部……………最優秀賞



中田 龍 玖
ながた りく
（中央小6年）
湧別町少年柔道大会「上野カップ2018」
小学6年男子の部……………第3位

本別柔道少年団 (10)
第9回十勝カップ秋季柔道選手権
小学校低学年の部 団体
第49回全十勝少年柔道選手権大会
全十勝女子柔道選手権大会
小学校低学年の部 団体
第33回全十勝小学生相撲選手権
小学生団体戦:……………

本別レツズ野球少年団(16人) 第8回J.A中札内村えだ豆旗争奪少年野球大会優勝



大泉瑚凜さん（本別中2年）
第55回北海道管弦楽器個人コンクール
帯広地区予選
中学校金管の部……………金管賞



やま
ね
もじ
か
さん（本別中1年）
最優秀賞

各学校の手作りページ

HELLO 農業大学校

北海道立農業大学校の魅力をダイジェストで紹介します!

全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

2月14日から16日にかけて、国立オリンピック記念青少年総合センターで「全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」が開催され、本校から「東日本大会」で最優秀賞に選出された、畑作園芸経営学科2年梅津智也君が参加し、優良賞を授賞しました。



冬季体育大会

2月1日、冬季体育大会が開催され、バスケットボールとドッジボールをクラス対抗総当たりで行い、熱戦を繰り広げました。



農大行事フォトアルバム

【海外視察研修】12月6日～14日（ドイツ）



畜産経営学科



畑作園芸経営学科

【卒業記念講演】2月18日



タイトル これからの時代の資産形成

新しいごみの分別が始まります



4月1日からごみの分別方法が変更となることに伴い、新たなごみの分別・出し方について昨年の広報ほんべつ10月号で変更点をお知らせするとともに説明会を開催し、また希望のあった自治会など地域でも説明会を行いました。

今回は説明会において出された質問についてご紹介します。

ごみ袋

Q 埋立ごみと生ごみ

余った袋は、4月からも使えるの？

A 6月末までは「燃やすごみ」「燃やさないごみ」の袋として使えます。出す際には分別してあれば埋立・生ごみのどちらの袋でも使えます。

Q 粗大ごみの処理券は変わるの？

A 変わりません。今まで通り使用できます。

ごみの分別

Q おむつは新聞紙にくるんでいいですか？
A おむつなど臭いが強いものや下着など人の目が気になるものは新聞紙にくるんで出せます。

Q 木でできた皿や置物は木くずになりますか？
A 木製品は燃やすごみの指定袋で出して下さい。木くずは環境整備活動で出る雑草や枝花などになります。

Q 「プラスチック製容器包装」と「燃やさないごみ」のプラスチック製品の違いは？
A プラスチック製容器包装は商品を入れたものや包んでいるものになります。燃やすないごみのプラスチック製品は商品自体がプラスチックでできているものを指します。基本的にはプラスチック製容器包装になります。

Q スプレー缶は穴を開けてもいいですか？
A 穴が開いていても収集しますが、危険なので穴を開けずに出してください。

Q 有害ごみは全て一緒に袋で出していいの？
A 「蛍光管」「水銀使用機器」「乾電池」「使い捨てライター」はそれぞれ別の袋で出してください。

新しいごみの分別については、ごみの出し方を詳しく記載した「ごみの出し方ガイド」を2月に配布しています。新たな分別方法の参考としていただき、これまで同様ごみの資源化、減量化にご協力をお願いします。

お問い合わせ

住民課環境生活担当 ☎ 22-8128

ごみの収集

Q ごみの収集は祝日も行うの？

A 年末年始を除いて、祝日も収集します。



経営改善などテーマに卒業論文を発表

北海道立農業大学校（山黒良寛校長）の第44期卒業論文発表会が2月19日と20日、同校で開かれました。畑作園芸経営学科および畜産経営学科の学生52人が、農業経営の改善や酪農ヘルパーなどをテーマに研究の成果を7分の持ち時間で発表。「卒論に取り組むことで、テーマに対する自分の役割や、地域理解が深まった」「農大で培った技術、知識をさらに深め、就職先でも頑張りたい」などの感想も語られました。会場には卒業生のほか教員や同学科の1年生が集まり、発表の内容や課題等に対し質問が投げ掛けられるなど熱気に包まれ、それぞれの研究成果について理解を深めました。



2 19・20

子供たちのために 地域・家庭・学校が連携

2 20

本別・仙美里地区コミュニティ・スクール(CS)導入説明会（町教委・同CS推進委員会主催）が2月20日、町体育館で行われました。今年4月から、同地区でCSが本格導入されることに伴い開かれたもので、町教委担当者からCSの制度説明等の後、参加者は4人ずつテーブルに分かれて「目指す子ども像」をテーマに話し合う「熟議」を体験。「次代を担う子供たちのために、一人ひとりが当事者意識を持ち、地域を愛する子どもに育てたい」など、地域・家庭・学校が一体となったCSの取り組みについて語り合いました。



POPづくりにチャレンジ!

2 20・21

銀河ほんべつ（河合篤史理事長）が主催する道の駅研修会が2月20日と21日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開かれました。20日は「売れるPOP作りと陳列方法」をテーマにヒロPOPオフィスの渡辺裕美代表が講演。商品の売れ行きには手書きPOPの活用が有効として、見栄えのする文字や装飾のポイントなどが説明されると、参加者32人は商品の特徴や購入者の情報などを基にそれぞれのPOPを作成しました。また21日には、コムズワークの竹ノ内久代表が道の駅の今後の展望について、約20人の参加の前で講演しました。



地域で作り上げる多彩な催し

2 16

第37回勇足地区公民館まつり（実行委員会主催）が2月16日、同公民館を主会場に開催されました。午前・午後の2部構成で行われた芸能発表では、勇足の幼児や児童、生徒、地域の人などが遊戯や合唱、器楽合奏やカラオケなどを披露。かわいらしい踊りや豊かな音色の響きに、会場は温かい拍手が送られました。他にも作品展示や草履作り、ゲートボール体験教室などが行われ、延べ400人の来場者は、地域一丸となった多彩な催しを楽しみました。



校長先生らが 本別の歴史を学ぶ

2 19

学校経営研修会（町長会主催：山川修会長）が2月19日、町図書館で開催されました。平成31年度に町内小学校でふるさと教育に使用する副読本が更新されるため、帯広百年記念館の大和田努学芸員が「本別の子供たちに伝えたい教育資源」と題して講演。大和田学芸員は街並みの移り変わりがわかる写真や古文書などの資料を示しながら、「現存する古い建物からも町の成り立ちが分かる。大きな出来事と身近にある素材を結びつけると、子供たちも歴史に興味を持ち、面白いと思える」と語りました。教育関係など25人の参加者は、副読本作成のヒントを得ようと真剣に聞き入りました。



本別の豆で作った 豆アート、飾ってね

2 18

1月に開催されたほんべつ豆まかナイトを主管する町商工会青年部（池田圭吾部長）が2月18日、本別中央小学校（山川修校長）を訪れ、同イベントで作成した巨大豆アートを寄贈しました。同アートはイベント来場者らが、本別で収穫された黒大豆やとら豆、白花豆など7種類、約3万粒を使って、畠1枚大的の板に元気くん鬼を描いたもの。池田部長は「豆の種まきから収穫、アート作成まで、子供たちが作った作品。児童らは本別は豆のまちだと知ってほしい」と思いを述べ、作品は高学年児童玄関に飾られました。同青年部では、次年度も豆アートを作成し、町内小学校に贈る予定です。



20歳以上の 学生のみなさんへ 学生納付特例制度のお知らせ

申請方法

【申請先】
役場住民課戸籍年金担当窓口またはお近くの年金事務所
【必要なもの】
・マイナンバーカードまたは通知カード
・本人確認書類（運転免許証等）
・学生証または在学證明書（原本）
・年金手帳
【申請時期】
申請時点から2年1か月までの期間について、さかのぼつて申請することができます。

申請方法

日本国内に住むすべての人は、20歳になったときから国民年金の被保険者となります。学生で納付が困難な場合は、申請により在学中の保険料の納付が猶予（先送り）されます。「学生納付特例制度」が設けられています。本人の所得が1・18万円以下の学生が対象となります。

コ 国 民 年 金 その204

日本年金機構のホームページは
<https://www.nenkin.go.jp/>
日本年金事務所
住民課戸籍年金担当へ
詳しく述べ
0155-25-8113
022-8121

老人ホームで本物のクラシックを 2/21

町老人ホーム演奏会が2月27日、同ホームで開催されました。これは帯広高齢者支援協会(東良二理事長)の後援のもと、高齢者に本物の音楽を届けたいという想いにより行われたもので、札幌交響楽団員のチェロ奏者である猿渡輔さんと同団員バイオリン奏者の竹中遙加さんが演奏。ベートーベンやバッハなどのクラシック音楽のほか、「春が来た」などの童謡や歌謡曲など全13曲が披露され、同施設利用者や地域住民など約50人がすばらしい音楽に魅了されました。



キレイマメの販売促進に向けて 2/28

十勝本別キレイマメの会(岡田清信会長)会議が2月28日、町体育館で開催され、同会加盟企業・団体から15人が出席しました。キレイマメ商品における現在の取扱店や商談会・物販について活動が報告されたほか、武蔵野美術大学の宮島慎吾教授が地域プランディングについて講演を行い、全国で展開される地域ブランドの新しいトレンドについて紹介。また会員間同士の協力による新たな商品開発の研究が紹介されるなど、参加者は今後の展開について確認していました。



シーズン本番に向か、仕上がりを確認 2/24

本別陸上クラブ(我妻勇次会長)が主催する第39回本別町室内陸上競技会が2月24日、銀河アリーナで開催されました。管内初戦となる同競技会には、トラックとフィールドの全21種目が行われ、十勝管内外の小学生から一般まで35団体から289人がエントリー。シーズン本番を控えた選手らは、冬場のトレーニングの成果を全力で披露しました。



舞踊と民謡を披露 2/24

町文化協会と町教育委員会が主催するほんべつ学びの日夢風事業「第42回舞踊と民謡の祭典」が2月24日、中央公民館で開催されました。「民謡・三味線発表会」と「舞踊祭」が合同となり3回目の開催となるイベントには、同協会加盟団体など12団体48人の出演者が、日ごろの練習の成果を27演目で披露。舞踊と民謡の共演による「長者の山」の発表や近隣町村文化交流のほか、本別小唄や北海盆唄では出演者と来場者約300人が踊るなど、会場が一体となり盛り上がりました。



完成した「鍋」のお味は… 2/22

町内5青年団体で構成する、若者の輪創造プロジェクト実行委員会主催による「鍋KAKOMAナイト3」が2月22日、津村会館で行われました。町内外から参加した63人は8テーブルに分かれ、冬の風物詩「鍋」を囲み、今年も鍋に入れる食材をドラフト制で選択。食材の選択が重複するとくじ引きが行われ、当たりが出ると会場は大きな歓声が上がりました。各テーブルで獲得した食材は煮込まれ、鍋が完成すると、参加者は食べ比べをして感想を語り合うなど、話に花を咲かせました。



スポーツ少年団がキンボールで交流 2/23

町スポーツ少年団交歓大会(町スポーツ少年団本部主催)が2月23日、町体育館で行われました。大会は、毎年恒例となるキンボールを実施し、町内6少年団から11チームが参加。キンボールは3チーム12人の選手が一度にコートに入って、直径1.22mのボールでヒットやレシーブを繰り返しながら得点を競います。参加した約70人の団員らはボールを落とさないよう元気に対戦しました。



農業塾でJA青年部の取り組みを発表 2/21

平成30年度第4回本別町農業塾(町営農指導対策協議会主催)が2月21日、農協会館で開かれました。今年度の農業塾は、土づくりや農業機械など基礎的な内容について主に実施。最終回のこの日は、JA本別町青年部2支部がポリシーブックの成果を発表し、新規作物や食育、農村ホームステイの受け入れなどについてそれぞれ述べられました。また、気象庁帯広測候所の吉田正博予報官らが十勝地方の気象特性について講演し、観測データをもとに将来の気温予測などについて語り、農業者・関係機関など約30人の参加者は熱心に聞き入りました。



つきたてのお餅を堪能 2/21

小規模多機能型居宅介護事業所のゆうあいの里主催による、勇足もちつき交流会が2月21日、勇足地区公民館で行われました。11回目となる同交流会は子どもから高齢者まで約130人が参加。地域団体の大人の指導により、子供たちは力いっぱいにお餅をついたり、あんこを包む作業を体験し、また同事業所の利用者も食べやすく切られたつきたてのお餅を堪能するなど、世代を超えた交流を楽しみました。



楽しく道の駅を学ぶ

3|10

町教育委員会主催による「ほんべつ 学～冬の学び～」が3月10日、「道の駅『ステラ★ほんべつ』を知ろう」をテーマに同道の駅で開かれました。参加者は平成18年までふるさと銀河線が走っていた線路や跨線橋のほか、現在は道の駅として利用されている駅舎を施設見学した後、同道の駅を管理する銀河ほんべつの今村周平事務局長が講演。その歴史や観光情報案内、特産品の販売といった道の駅の役割について、クイズを交えながら説明し、参加した町内の小学生5人は楽しく学びました。



税をテーマにした ポスターで本中生が入選

3|11

まちの情報を広報監修担当へお寄せください
822-18121

第33回全道中学生の税をテーマにしたポスター募集において入選した本別中学校の生徒2人への表彰式が3月11日、同校で行われました。



一年間の 集大成を披露

3|2

第16回本別ジュニアプラスアンサンブル定期演奏会（山田衣純団長）が3月2日、本別中央小学校で開かれました。小学1～6年生の団員17人が歌謡曲やアニメソングなど、アンコールを含め15曲を披露。謎掛けやアニメキャラクター登場など団員によるアイデアの詰まった曲紹介のほか、保護者や吹奏楽関係者との合奏も行われ、会場を訪れた約100人から大きな拍手が送されました。



民生委員4人を表彰

3|6

社会福祉関係功労者等十勝総合振興局長表彰の表彰状伝達式が3月6日、総合ケアセンターで行われました。この表彰は、民生委員・児童委員として10年以上在職し、その功績が特に顕著な人などに贈られるもので、町からは今年度4人が受賞。伝達式は第6回民生委員児童委員協議会の中で行われ、井出壬午会長から表彰状が手渡されました。受賞者は次の通り。

民生委員・児童委員

井出壬午さん 新津美代子さん
木村邦子さん 志戸田由美子さん



全道121校3,328点の応募があった中から選ばれた2人は、十勝総合振興局課税課の杉山由明課長から表彰状と記念品を授与。斎藤愛莉さんは「北海道で働いている人がみんなで手をつなぎ、輝く未来を創る姿をうまく表現できた」と喜びを語りました。入選者は次の通り。

北海道知事賞＝入選 斎藤愛莉さん（2年）
十勝総合振興局長賞＝

銀賞 向井七海さん（2年）

世界にひとつしか ない絵本づくり

3|2

家庭教育支援事業「なかよし」ファミリーデーが3月2日、子育て支援センターで開かれました。これは同センターが、平日に来ることができないお父さんなどと一緒に遊べるよう土曜日に施設を開放。町図書館の協力による「親子でできる簡単な絵本作り」には、8組18人の親子が挑戦しました。参加者らは、何を書くかイメージをふくらませ、それぞれ好きな絵を描いたり、動物など身近な素材のイラストを使ったりして、親子のふれあいを楽しみながら世界に一冊だけの絵本を完成させました。



健康長寿の まちづくり会議

3|1

今年度第4回となる本別町健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長）が3月1日、総合ケアセンターで行われました。井出会長のあいさつに続き、澤田満副会長が地域密着型通所介護事業所であるディーサービスセンターほんべつの営業日短縮について、部会での協議結果を報告。また事務局からは、地域包括ケアプロジェクトの取り組み状況や町国保病院の新改革プラン、地域連携室について報告されたほか、各所属団体の活動に関して意見交換が行われました。



消費者協会会長に 杉臣幸恵さんが就任

3|1

本別消費者協会の臨時総会が3月1日、役場で開催されました。平成27年に開設された本別ひまわり基金法律事務所が、渡辺紳生弁護士から杉臣幸恵弁護士に引き継がることから、渡辺会長の転出に伴う職辞任などによる役員の補欠について諸られ、新しい会長に杉臣幸恵さんを、副会長に田口昭子さんと古川信子さんを選出。渡辺さんは「今年7月に本別町で十勝消費者大会が開かれるが、任期途中での退任となり申し訳ない。成功裏に終わるよう祈念します」とあいさつすると、杉臣新会長は「大役を担うが、十勝大会を成功させたい」と決意を語りました。



みんなの健康

416

胃バリウム検査とは、バリウムという造影剤を用いた検査で、人間ドックでよく行われている検査です。正式には上部消化管造影検査といい、食道・胃・十二指腸の病変を子エックするための検査です。

検査の対象年齢は、30歳以上（会社などの方針によって異なります）で、検査時間は10～15分程度です。主に食道がんや胃がんなどの病気を早期に発見することを目的とします。

検査を受ける場合の注意点としては、前日の夕食は軽くし、夜8時以降は飲食しないようにしましょう。検査当日も絶食でお願いします。検査の流れとしては、はじめに発泡剤（胃を膨らませるお薬）を下剤入りのお水と一緒に飲みます。しばらく状態の胃を膨らませるこ

とにより、胃の中のひだを伸展させ、胃全体を見ることで1つずつ部位の小さな病変を見つけることが可能です。ただし、検査中はゲップを出してはいけないので、皆さんの中には「ガマンするのが大変」とか、「これがつらいやね」とかの声をよく聞きます。発泡剤を目の前にして苦笑いする人もいます。私自身も人間ドックを受診しますので、その気持ちがよく分かります。さらに検査中は、バリウムを飲んで体の向きを左右に変えたり、体を一回転したりと大変な作業だと思いますが、胃の中の状態を確認するにはどうでも大事なことなので、ご協力をお願いします。

最後に、ご自身が健康であるために、定期的な人間ドックを受診されるようお勧めします。もし、不安なことなどあれば、ささいなことでも気軽にスタッフに声を掛けいただけるとうれしいです。

春の「こどもフエスティバル」では、縁日や熱気球搭乗体験などさまざまな催し物が行われますので、家族や友人をお誘いの上ぜひ遊びに来てください。

足寄町

□日 時 午前9時～午後1時(予定)

5月6日(月)

(予定)

□場 所 ネイパル足寄
□内 容 热気球搭乗体験、縁日、アトラクション、食事コーナーほか

□その他 入場は無料です。
上靴をご持参ください

北海道立青少年体験活動支援施設
ネイパル足寄 ☎ 025-611-11
<http://www.napal-asphoro.hokkaido.jp>

足寄町 こどもフエスティバル

2019ふるさと銀河線

りべつ鉄道運行開始

ふるさと銀河線りべつ鉄道の今年度の運行が始まります。国内最長を誇る運転体験やご家族で楽しめるトロッコの乗車体験で皆さんの「」来場を待ちしております。

□営業期間 4月27日(土)

5月27日(日)

※火・水曜日は定休日

□営業時間 午前9時～午後4時30分
(受付 午後4時まで)
※気動車乗車体験、運転体験Sコース(予約優先)、トロッコ乗車体験が楽しめます

※運転体験レ・銀河コース(完全予約制)についてはお問い合わせ下さい
※「新銀河コースは、災害の影響により2019年の運行予定はありません

まぜん

□問い合わせ ふるさと銀河線りべつ鉄道 ☎ 027-122-44
<http://rikubetsu-railway.jimdo.com/>



仙美里元町
小泉蒼太くん
(稚佳子ママ)

未来に輝く
子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんたのこさんの愛に包まれてすくすく元気に育つね！

町内2中学校で卒業式

3 | 15

本別中学校と勇足中学校の卒業証書授与式が3月15日、各校で実施されました。2中学校合わせて53人の卒業生が義務教育課程を終了。式では多くの保護者が見守る中、校長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し、祝福の言葉を贈りました。卒業生らは在校生から感謝の言葉を掛けられながら、思い出の学びやを後にしました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎ 22-8121

ご寄附ありがとうございます 平成31年2月16日から3月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★老人ホーム指定

タオル 28枚、ぞうきん 40枚、ウエス 192枚
..... 本別町赤十字奉仕団 委員長 西出好子

タオル 171枚、バスタオル 17枚、おしぶり 1枚
..... J A本別町女性部 部長 細田友子

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

※町内の寄付者を掲載させていただきます

金 100,000円 北3丁目 尾崎 将寛
計 金 4,255,000円 165人
(上記含む)

戸籍のまど

お誕生

室矢 舜子さん 武則 雅子さん 3/10 柏木町

2月後半から
3月前半の
届出分

おくやみ

尾崎 澄江さん 81歳 2/15 北3丁目
 島崎 昭吉さん 91歳 2/15 向陽町
 富田 義孝さん 78歳 2/17 山手町
 和田政一さん 89歳 2/21 緑町
 佐藤 武さん 65歳 2/25 柏木町
 河野美智子さん 80歳 3/1 負駒2
 田中 功さん 82歳 3/3 栄町
 河原美代さん 95歳 3/7 北6丁目
 河野美代子さん 60歳 3/8 南4丁目
 細岡 照子さん 85歳 3/8 美里別西上
 樋口 勉さん 90歳 3/9 北3丁目
 金子 茂義さん 82歳 3/12 勇足西3
 高 ユキ子さん 89歳 3/12 追名牛

わたりしたちのまち

前月比

人口 7,041人(-28)
 男 3,433人(-25)
 女 3,608人(-3)
 世帯数 3,649戸(-11)
 [2月末日住民基本台帳]

本のある暮らし

217

4月の教室は
わくわくドキドキ

~入園・入学おめでとう~

図書館入口の展示スペースでは、入園・入学を迎える皆さんやそのご家族にすぐ役立つ本を、楽しく紹介しています。新しい環境での毎日、元気に過ごせますように！

これが
おすすめ学研の図鑑 for Kids
『入学準備の図鑑』

1年生は何を勉強するの？
 身に着けるべきことは？などの疑問に答えてくれる1冊。読んでたくさん話して、入学式を待ちましょう。

絵本『おおきくなったら
きみはなんになる?』

保育に携わる作家が、卒園式で語りかけたことばの数々。夢に向かって羽ばたく子供たちに、エールを送る1冊です。

ママからの質問

Q 小学生のわが子、絵本を読んでもらうのは好きですが、自分で読もうとしません。これでよいのでしょうか？

A 「読み聞かせ」は読書の第一歩。聞くこと、見ることから、読む力が養われ、本の面白さが読む楽しさにつながります。たくさん読んでもらって「本が好き」な子になる！まずは、それでよいと思います。

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称: ぶっくるーお)

本別町北2丁目 電・FAX 22-5112